

# おひさまのパワーを 活かして

南信州のシンボル 風越山

## エネルギーの地産地消で 循環型社会を目指す

NPO法人  
 ・設立 04年6月  
 ・代表理事  
   松江 良夫  
 ・会員数 49人・社  
 ・17年度事業費  
   約430万円

特定非営利活動法人南信州おひさま進歩  
 おひさま進歩エネルギー有限公司

有限会社  
 ・設立 04年12月  
 ・資本金 300万円  
 ・従業員 6人(派遣含む)  
 ・代表取締役 原亮弘

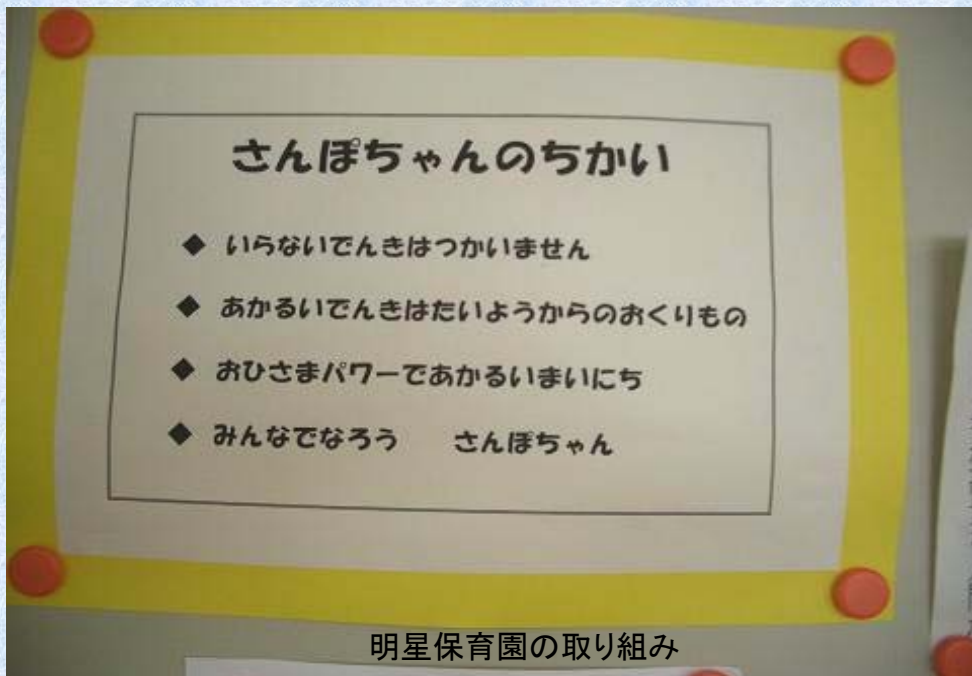
## BDF精製実験プラント(飯田市内) ー使用済みの食用油が燃料にー



## おひさま発電所「さんぽちゃん1号」



2



明星保育園の取り組み

3

## 保護者の連絡帳より

三歳児： 夕方暗くなっても電気をつけようとせず、暗い部屋にいます。節電を心掛けているようです。

四歳児： 帰って来るなり、「電気は消さなくっちゃいけないんだよ!」。お父さんにも、「早く寝て、電気を消すに!」とっていました。

五歳児： 家に帰って来てからもさんぽちゃんの誓いを何度も言っていました。よく覚えているものですねー。

日曜参観の後： 園長先生がお父さん達に向けて地球環境への取り組みをお話されたことは、とても意義のあることだと思いました。子ども達だけでなく私たちも考えなくてははいけませんね。

後日談 お風呂の電気が消された大事件

4

おひさま進歩エネルギーの成り立ち パートナーシップ型環境公益事業

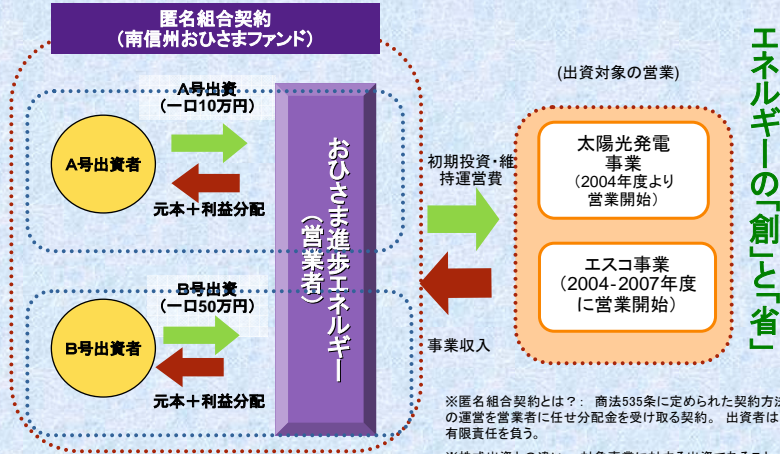
NPOの市民事業の理念を核に、様々な主体の力を集めて立ち上がった。



5

# 南信州おひさまファンド 出資の仕組み

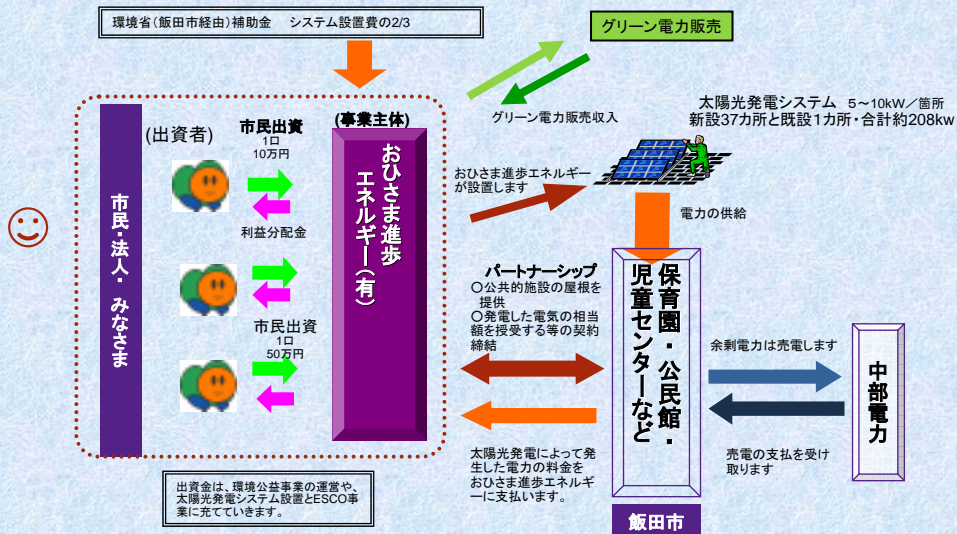
みなさまの出資金は、出資対象営業(太陽光発電事業、エスコ事業)に投資され、そこからの事業の収益に從って、それぞれの出資者のみなさまに損益及び現金の分配が行われます。



※匿名組合契約とは？： 商法535条に定められた契約方法で、出資者が事業の運営を営業者に任せ分配金を受け取る契約。出資者は出資額を限度とした有限責任を負う。

※株式会社との違い： 対象事業に対する出資であること、事業主体が実施するその他の事業とは会計上切り離されること。

# 地域の小さな電力会社をつくりました。



# 保育園・公民館などの公的施設37箇所にて太陽光発電設備を設置

既設の明星保育園の1つを含め、38カ所の発電所を管理運営

鼎みつば保育園に設置された太陽光発電設備



千代保育園に設置された太陽光発電設備

松尾児童クラブに設置された太陽光発電設備



おひさまの力で電気が生み出されている実感



子ども達の環境意識への働きかけ



屋内  
太陽光発電の発電表示器(見える化)

屋外

## パネルシアター「おひさまパワーとさんぼちゃん」



真剣なまなざしの先には  
さんぼちゃん？

さんぼちゃんが喜ぶ省エネって？  
おうちへ帰ってやらにゃー！

※17年度は28箇所の幼・保育園で  
2,300人以上に観ていただきました



10



幼・保育園児らと一緒に  
温暖化防止活動を行う



さんぼちゃんと一緒に

11

## 飯田市との売買取電契約内容の特徴

- ☆ 20年の長期契約であること。  
(行政財産の目的外使用についても20年の契約)
- ☆ 22円/kwhの買取契約であること。  
(ただし大きく変動する場合は調整)
- ☆ 20年の契約期間の間には、建て替え、移転等が考えられますが、基本的には「事業の趣旨」をくみとり、契約が継続できるように「配慮する」という規定 など・・・

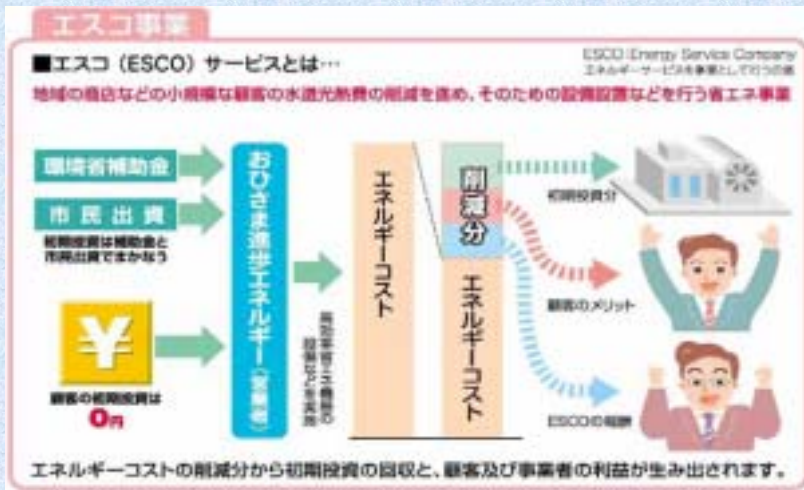
12

### 2005年度「おひさま発電所」の実績 運転開始～2006.3.31

- ・総発電量 241,504kwh
  - ・自家消費量 147,674kwh  
(グリーン電力認定分) 141,954kwh  
(設置施設消費量)
- 自家消費量／総発電量＝58.8%

※予想発電量22.8万kwhに対し106%  
全体として当初の予定を達成した

13



## 出 資 の 内 訳

募集口数	A号(10万円)	1500口
	B号(50万円)	103口
出資者数	474名	
	A号:	398名
	B号:	76名
内、A・B号両方に出資した人数14名		
飯田市内出資者数(内数)	60名	
	A号:	53名
	B号:	7名
	内、A・B号両方に出資した人数2名	

募集締め切り予定日の5月31日を待たず24日で満了



## 出資者の声より抜粋

---

- ・社会に役立つところであればうれしい。
- ・地域に優しいエネルギーに投資できるなら少しずつでも続けたい。
- ・外国で自分の望む使い道にお金を預けるという話を聞いて自分もそういうところにお金を預けたいと思った。
- ・自然エネルギーの有効利用について自分にあった支援をしたい。
- ・人権、環境などに配慮した投資(市民バンク的なもの)があればそれに転換していきたい。
- ・遺産を納得の行くNPOや団体に寄付したい。死後も意思が残っていくと考えるのは活動の原動力になっている。